

八王子東高校7期生 故・飯島夏樹さんの著書

「天国で君に逢えたら」

がテレビ化されます



八王子東の保護者の皆様、ご無沙汰しております。

「志邇伽之」111号(2007.11)を担当した広報の青野です。

今回は皆さんにご紹介です。

111号最終ページで、映画「Life 天国で君に逢えたら」(2007年公開)は、本校7期生の故・飯島夏樹さんの同名著書と彼自身の生涯がベースになっていますと紹介いたしました。その折に取材した飯島夏樹さんのお母様(飯島まゆみさん)より、おはがきをもらいましたのでご紹介いたします。

・お知らせ・

夏樹の処女出版小説がテレビドラマになりました。

(奇跡のラブストーリー)“天国で君に逢えたら”

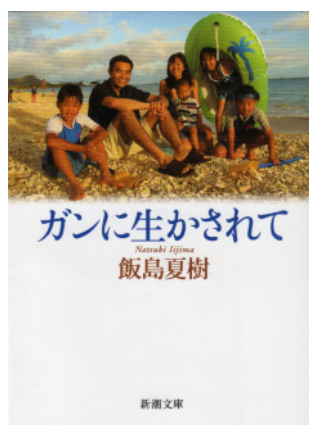
TBS6チャンネル

9月24日木曜日スペシャルドラマPM9時~11時

主演 嵐の二宮和也・宮本信子 その他豪華キャスト

友人・知人の皆様にお声をかえていただけたら幸いです。

ぜひ観てほしいと・・・。



重く描かれがちな「生と死」というテーマを、「ユーモア」と「清々しさ」を交えて綴っております。ぜひ、ぜひ皆様テレビをご覧になってください。参考に「志邇伽之」111号の最終ページを載せます。(広報委員OG 青野)

(掲載した図書は 新潮社刊・飯島夏樹著「天国で君に逢えたら」と「ガンに生かされて」です。)

しらかし広場

平成19年度 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)

「鮮魚に学ぶ～魚のかたち・魚の核酸～」

東高生、お茶の水女子大学教授から授業を受ける!



9月4日(火)、魚の形が核酸に由来する事を実験で確かめる特別授業が行われました。講師は海洋生物が専門のお茶の水女子大学湾岸生物教育センターの服田昌之先生。参加者は3年生の生物専攻を中心に希望者14名。この特別授業は高校生に理科が好きになつてもらおうと文部科学省が企画し、大学の研究者を高校に招聘して実験や授業を行つてもらおう「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」の一環として実施されました。そのSPPに東高生物科が企画を出し、初めてこの挑戦で採択されました。



筋肉の作りの違いから来るんです」と語り、お魚も新鮮なら講義も新鮮そのものでグッと生徒達を惹きつけます。さっそくアジを解剖して肝臓を取り出し、DNAとRNAを抽出するところから実験が始まりました。中には寄生虫を取り出した生徒もいて悲鳴が上がります。そして抽出した核酸(DNA・RNA)を酵素で分解し、電気泳動にかけて各核酸の長さを解析しながら、酵素の働きや核酸の性質を学びました。

解剖に取り組んだり、SPPに採択されたことで購入できなかった遠心分離器や電気泳動装置、ピペットマンなど専門的な用具を扱えたことで、生徒達も満足そうでした。服田先生は「生物Ⅱ、化学Ⅱを選択している生徒が主体なので失敗が少なかつた。東高生はとてもまじめな印象を受けました」と感想を述べておられました。知識だけではなく実践したことでも受験にも役立つとのこと。

つとのこと。このDNA鑑定の実験は、産地確認の検査等のために身近なスーパーなどでも行われているそうです。

生物科では、これからもこのプロジェクトにどんどん申請していくそうですから、また大学の先生から最先端の講義を受ける機会がありそうです。

夏樹さん、今年も白団が優勝しましたよ!

この夏公開され、全国で話題をさらった映画「天国で君に逢えたら」は本校7期生の故・飯島夏樹さん(享年38歳)の同名著書と彼自身の生涯がベースになっています。お兄さんも5期生、お母さんの飯島まゆみさんはずっと広報委員として活躍されて、私達の大先輩です。夏樹さんの高校時代のことなど、お母さんにとってみえました。

「夏樹は、3年では白団団長を務めたり(102号に掲載)、とにかく行事に部活に勉強に一生懸命でした。水泳でトップを目指していたのですが、2年の初めに脊椎分離症になり、初めて挫折を味わいました。それでもスポーツで世界のトップに立ちたいと、ラグビーやアメフトなどいろいろ探してウインドサーフィンに出会ったのです」

その後、夏樹さんはウインドサーフィンの環境の良い琉球大学に進み、

★熱血! 東応援団懇親会

10月6日(土)、昨年を上回る数の教職員24名、保護者72名が終結し、常任委員会の有志による企画で、懇親会が行われました。

乾杯に始まり、今宵一夜の幻の出し物、文化祭で評判だった2年生担任団の劇やT'sの演奏、先生方のク

ラス自慢やしらかし祭の裏話などで、会場は笑い拍手の渦に包まれました。最後は本部役員を中心としたフラダンスを全員で踊り、先生方と保護者の距離が一挙に縮小! ともに生徒達の応援団であることを確信した2時間半でした。



遂に日本人で唯一ワールドカップに8年連続で出場するなど、世界的なウインドサーファーになっていきます。しかし、2002年に肝臓ガンと診断されて、2度目の挫折。その後の闘病生活と最後の日まで明るく生を全うした彼の人は、著書や映画で「こ存じ」とおりです。トップを目指して努力する生き方、挫折をも乗り越えていく強さ、そして家族や友人に対する思いやり、そのどれもに東高スピリットを感じます。今年も夏樹さんが団長を務めた白団が「こ優勝!」と天国で観ていくれたことでしょう。(合掌)



あとがき

東高生バンザイ! 青春バンザイ! 111号はヒガシの生徒が1年が一番燃える季節の取材をしました。生徒達の熱気、情熱、悔しさ、すがすがしさ、そして広報委員の心意気、伝わりましたでしょうか? 先生方の生徒達を見守る熱い眼差しがどんなにか生徒達の成長を手助けしていることでしょう。誌面には現れていない多くの方々の心の中につながりを感じます。縁あって八王子東の仲間になれてとても光栄に思っております。ありがとうございました。

八王子市高倉町六八番一 号 〇四二六(四四)六九九六八 通巻一一一